

(2)業務内容	
①機能性・独創性（事業への具体的な取り組み方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域でのイベントに対して、無料入浴券や食事券の提供、本社の発行するフリーペーパーでの施設紹介など、利用促進が図られている。 ・当施設でのグラウンドゴルフ大会の開催や、周辺地域で開催されるグラウンドゴルフ大会への協賛など、利用促進のための事業や地域貢献活動が行われている。 	
②責任性・実行性（施設の運営体制や組織）	
<ul style="list-style-type: none"> ・運営体制として、責任者1名、フロント2～3名、清掃4名(客室1名・施設1名・浴室2名)、レストラン2名、夜間警備1名が配置されている。また、毎朝のミーティングを通じて職員間の連携を深めるなど、施設の円滑な運営が図られている。 ・トラブルや事故への対応、危機管理など、普段から情報伝達手段の充実や報連相の徹底が図られており、危機管理やリスクマネジメントに対する責任と役割に応じた運営がなされている。 	
③明瞭性・規律性（適正な事務や経理）	
<ul style="list-style-type: none"> ・施設内の事務所において、毎月の出納帳の管理、市への月次報告及び市の立入検査の受入、収支内訳書の作成等が行われており、領収書等の証拠書類も適正に処理・保管されている。 	
④安全性（安全管理・緊急時等の対応）	
<ul style="list-style-type: none"> ・組織体制や緊急時連絡網等が作成され、緊急時の対応・安全管理が行われている。 ・災害訓練の実施・消防計画書の作成など、災害時の対応に備えている。 ・日常的に塩素や温度の管理、測定が行われており、安全管理に努めている。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、空気清浄機の設置や徹底した消毒作業等に努めるとともに、マスクを着用していない利用者への無償配布等の取組が行われている。 	
⑤社会性（環境等への配慮）	
<ul style="list-style-type: none"> ・木質チップボイラーを主熱源、重油ボイラーを補助熱源として運用することで、二酸化炭素排出量を削減するとともに、本市の地域資源である森林の有効活用に努めている。 ・会社独自に設備調査や季節ごとにボイラーの出力や運転時間をこまめに調整するなど、燃費効率の改善に努め、省エネルギーに取り組まれている。 	
(3)事業収支	
①経済性	
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、部門ごとの収支が確認され、運営体制の見直しに努めている。 ・新型コロナウイルス感染症の影響による大幅な収入の減や、物価高騰等による経費の増に対して、人件費や光熱水費等の歳出経費の削減や利用者の確保に努力している。 	
(4)団体の経営状態	
①経営の健全性	
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症等の影響を受けながらも、フリーマガジンの発行やイベント企画等の多様な事業に取り組んでいる。 	

施 設 概 要 調 書

1 施設の概要

施設名	鹿屋市交流センター「湯遊ランドあいら」		所 管 課：商工振興課
所在地	鹿屋市吾平町麓2973番地		設置年月日：平成10年12月
設置目的	市民の健康増進と福利厚生を図り、併せて交流の拠点となり、市の活性化・定住促進に資するもの		
設置の根拠 (法令、条例等)	鹿屋市交流センター「湯遊ランドあいら」条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積	20,110㎡
		延床面積	2,812㎡
		《有料》 浴場・研修宿泊室・会議室・屋外スポーツ施設（夜間照明） 《無料》 休憩室	
	事業概要	(1) 施設の使用の許可等に関する業務 (2) 施設の維持管理に関する業務	

2 経営分析評価指標

①事業収支	△5,829千円	④外部委託費比率	5.2%
②利用料金比率	52.2%	⑤利用者あたり管理運営コスト	701.5円/人
③人件費比率	40.0%	⑥利用者あたり自治体負担コスト	129.8円/人

※ 少数点第2位四捨五入

3 運営状況

項目	実施計画（事業計画書より）	実施内容（実績）
開館日数	341日（休館2回/月）	341日
開館時間	7:00～22:00	7:00～22:00
事業開催	年6回～	年6回

4 利用実績

項目		実施計画（事業計画書より）	実施内容（実績）
施設利用 人数	浴 場	—	124,529人
	宿 泊	—	4,393人
	会 議 室	—	889人
	屋外施設	—	4,425人
	計	—	134,236人
相談件数		—	—
講座参加者数		—	—
合 計		—	134,236人

5 事業収支

(単位：千円)

項目		実施計画 (事業計画書より)	実施内容 (実績)
利用料金	入浴料	28,800	25,653
	宿泊料		19,648
	会議室	25,000	159
	屋外施設		644
	小計	53,800	46,104
その他収入	物産品販売		7,982
	自動販売機	48,728	1,246
	レストラン収入		15,040
	雑収入		545
	指定管理料	3,810	17,423
	小計	52,538	42,236
収入計 (A)		106,338	88,340
人件費		43,700	37,710
光熱水費		12,480	15,445
修繕料		1,000	995
管理費		35,420	32,814
委託料		4,770	4,885
公租公課		30	30
その他		1,500	2,289
支出計 (B)		98,900	94,169
収支 (A) - (B)		7,438	△5,829

指定管理者自己評価表

令和 5 年 6 月 7 日

指定管理者 I H U 株式会社

施 設 名 湯遊ランドあいら

確認事項		自己評価
履行確認	1 協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営を行っているか	3・②・1
執行体制	2 人員の配置が適切であるか	3・②・1
	3 従業員に対し、業務に必要な研修や教育を適切に行っているか	3・②・1
	4 就業規則等を遵守し、雇用者の労働環境を確保しているか	3・②・1
	5 個人情報の取扱いは適切に行っているか	3・②・1
安全対策	6 危険箇所の把握及び点検を行い、利用者等の安全安心に努めているか	③・2・1
	7 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であるか (緊急連絡網や初動対応要領の作成等)	③・2・1
サービスの質	8 親切丁寧な接客に努めているか	③・2・1
	9 利用者からの苦情等に対し適切に対応しているか	③・2・1
	10 特定の者に有利又は不利な取扱いをしていないか	③・2・1
	11 サービス向上及び利用促進のための取組を行っているか	3・②・1
報告事項	12 利用者の満足度調査 (聞き取りを含む) 等を行っているか	3・②・1
	13 施設の破損及び異常について、速やかに対応し、市へ報告しているか	③・2・1
経営状況	14 利用者数や稼働率等は適切な水準であるか	3・2・①
	15 事業収支は妥当であるか	3・2・①
総合評価 (所感)	<p>コロナ禍での影響も2年連続で続き、イベント自粛及び急遽キャンセル等々昨年以上に地域の感染者増が影響する1年でした。施設としてお客様への感染予防告知声掛けを行い安全には配慮しており、感染者が出る事も無く大きな事件事故も無く良かったと思います。</p> <p>営業的にはスポーツ大会、合宿の中止、キャンセル等々昨年同様に大きな痛手を受けましたが、年明けは大分回復の兆しが出て営業も伸びがみられて参りました。</p>	

【自己評価の採点基準】 「3」…優 「2」…良 「1」…可

※ 総合評価 (所感) の欄には、年間を通した指定管理業務において評価できる点や改善点・反省点を踏まえた所感を記載すること。